

2013年11月27日

愛知製鋼株式会社

水素ステーション機器の安全性・信頼性に貢献 ～水素社会化に向けた鋼材開発 高圧水素ステンレス鋼AUS316L-H2を開発、販売～

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市、社長:藤岡高広)は、水素社会化に向けて高圧水素用ステンレス鋼AUS316L-H2を開発し、水素ステーションの高圧水素用機器に用いる素材として販売に取り組んでいる。

次世代エコカーとして注目され、2015年から一般販売される燃料電池自動車の普及には、燃料となる水素を供給する水素ステーションのインフラ整備が急務である。本鋼種は、SUS316および、SUS316L相当鋼であると共に、独自の成分設計により高圧水素ガス環境でも水素脆化の影響を受け難いことを特徴としており、水素ステーションにおける高圧水素用機器の安全性・信頼性の向上に貢献できる。

平成24年12月に改正された、一般高圧ガス保安規則関係例示基準が求める高圧水素用のSUS316および、SUS316Lの要件を満足することから、既に複数の高圧水素用機器メーカーに採用されている。用途として耐水素脆化特性が求められるバルブや配管継手に使用されている。

またAUS316L-H2は、SUS316とSUS316Lの規格を同時に満足することから、各鋼材で在庫を持つ必要がなく、素材在庫を低減できることもメリットとして挙げられる。

本件についてのお問合せは、愛知製鋼株式会社 総務部 総務・広報室 原田、加藤(052-603-9216)まで、ご連絡をお願いいたします。

【製品概要】

- | | |
|---------|---|
| 1.商品名 | AUS316L-H2 |
| 2.特徴 | 優れた耐水素脆化特性 |
| 3.用途 | 水素ステーションの高圧水素用機器 |
| 4.寸法・形状 | φ25～φ140、丸棒 |
| 5.規格 | JISG4303 SUS316 および、SUS316L を満足。
一般高圧ガス保安規則関係例示基準の要件を満足。 |
| 6.製造 | 愛知製鋼(株)知多工場 |
| 7.販売目標 | 1億円 |
| 8.営業窓口 | 愛知製鋼株式会社 中部営業部 Tel. 052-603-9024 |

以上